

武漢事務所週刊ニュース(2015年6月27日～7月3日)

武漢-タイパタヤ間の直行便が開通

06月27日 楚天都市報

本日、武漢天河空港にて、タイパタヤ行きの直行便が開通した。月、水、金、日曜日の週4便が運航され、出発時刻が21時20分、所要時間が3時間半となる。

ここ数年来、タイ旅行は大人気で、陽光、ビーチ、海鮮料理で世界中によく知られているパタヤは、世界中の観光客をひきつけている。

今まで武漢からパタヤへ行くためには、バンコクなどで乗換える必要があったため、時間と体力がかかっていた。今回直行便が開通し、武漢及び周辺の旅行客はビジネスや観光を目的とする人たちにとって便利な選択肢が増えた。この航路ではタイR航空会社のエアバスA320とA321型機が運航されている。

また、武漢からフィリピンのボラカイ島行きの直行便も開通する。出発が23時35分で、5日に1便の運航となり、今年の10月までに運航する予定。

10ヶ国あまりのビザ政策がきっかけとなり、夏休み時期のビザ取得が簡単になる。人の渡航がさらに便利に

06月28日 楚天都市報

今年の夏休みに、中国人のパスポート需要が、飛躍的に高まりつつある。昨日、情報によると、10数の国のビザ要件の簡素化措置で中国人観光客が増え、武漢の夏休み海外旅行パックに関する問合せや売上が明らかに上がっている。“以前と比べると、今年は、観光客のビザの取得が簡単になっている。”10あまりの人気旅行先となる国が中国観光客に対してビザ要件の緩和措置を取っている。例えば、日本は5年間マルチ往復ビザを新たに増やし、中国の日本行きクルーズ客に対してビザ免除政策を実行している；トルコはデジタルビザを実行し、申請者は公式サイトで個人資料の記入及び費用の支払だけを済ませば、トルコの個人自由旅行ビザが簡単に取れる；マレーシアは中国人客に対してビザ取得費用の免除となる；インドネシアは多くの所でビザ免除を正式に実現すると昨日、携程湖北地域の責任者が発表した。

欧州へのビザ取得のプロセスも簡素化された。イタリアは今年の万博の開催をきっかけとして、ビザ申請所要時間を短縮し、36時間で個人旅行及び商務ビザを出すと表明した。そしてドイツへのビザ申請所要時間も5日から3日に短縮した。

今は旅行シーズンで、「ビザ効果」はすぐにも武漢旅行市場に表れた。各旅行社によると夏休みの出国旅行の人数が大幅に上昇し、日本、トルコ、マレーシア、バリ島コースの増加は目立つという。